



福住小中学校 学校通信



福住小中学校
令和5年2月17日
文責 神元 聡

世界に目を向ける 自立する 共に生きる

【 学校教育目標 】 一人ひとりが 元気で いきいきと輝く子ども

祝 ユネスコスクール キャンディデート校に認定！

2月10日（金）にACCU（公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター）より、ユネスコスクール国内審査の結果通知が届き、福住小中学校がユネスコスクールキャンディデート校に認定されました。キャンディデート校とは、国内審査に合格し、ユネスコ本部（パリ）に申請中の学校のことです。今後、本部で審査後、正式にユネスコスクール認定校となります。4年前、福住小学校ユネスコスクール承認へ向けて、ラヴィ先生の力を借りながら、ユネスコパリ本部へ加盟申請の手続きを行ったことが始まりでした。その後、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ユネスコ本部が閉鎖され、申請手続きは中断されたままになっていました。ユネスコ本部の再開に併せて中学校も追加申請し、小中同時にチャレンジ期間に入ることになりました。小中共に「ESDカレンダー」を作成し、「福住学」を中心にESD教育を真ん中に置いた小中学校の礎を構築しました。5回の奈良教育大学の研修を受講し、ほとんどの教員がESDティーチャー認定証を取得するなど、ユネスコスクール認定に向けて取り組みを進めてきました。昨年8月末に全ての資料の提出を終え、チャレンジ期間が終了しました。その後は、探究の時間を中心に、果報を心待ちにしていました。この度、10点満点（必須項目3点、努力項目7点）で国内審査を通過し、福住小中学校が「ユネスコスクールキャンディデート」として位置づけられました。今後、ユネスコパリ本部へ申請を行い正式に認定される予定です。「福住学」や「福住村教育連携プロジェクト」を中心にユネスコの理念を福住小中学校の教育に反映させ、福住校区のESDの活動拠点となるよう努力していこうと考えています。



「地域と共にある学校」

■最近、「地域と共にある学校」を地で行く日々が続いています。

■1月31日に「昔の遊び体験」（「お手玉」「けん玉」「おはじき」「コマ回し」「羽根つき」「竹とんぼ」）で、2月2日に「凡ダンス」（「天理音頭」「河内音頭」）で地域の方と一緒に体を動かし、体も心もぼかばかになりました。■8日には、地域の味噌ソムリエの方のご指導の下、自分たちで育てた青大豆（福住村プロジェクトで栽培されたものと同じもの）を使って、味噌づくりにチャレンジしました。■9・10・16日の朝は、地域ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」がありました。教室に行くと、自然と子どもたちが集まってきて、読み聞かせが始まります。■これらの地域の方々との活動はどれも、子どもたちの目はきらきら輝いており、やる気に満ちています。時折、笑い声が起こったり、気軽に質問したり、教師には見せない子どもたちの一面を垣間見ることもできました。地域の方々がいっしょそばにいる安心感あふれる景色が、学校にはやっぱり必要なあと、実感できた時間でした。

